

ニホンザルの特性と効率的防除



佐賀県農業技術防除センター

鳥獣害対策担当専門技術員

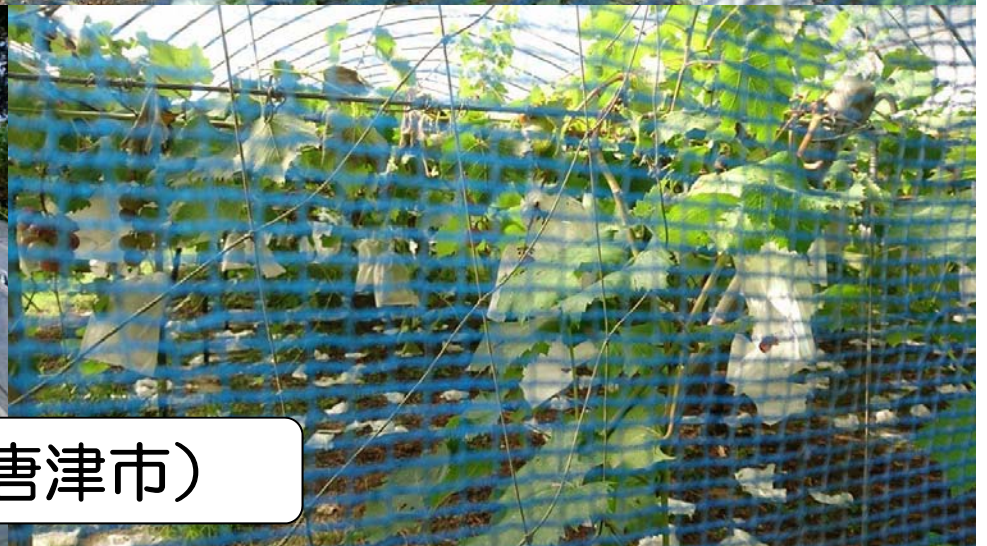
島 政勝

農作物被害の状況





タマネギ被害（唐津市）



施設ブドウ被害（唐津市）

繁殖生理について

○ 基本データ

- 交尾期：10～2月
 - 出産期：4～7月
- 季節性
- 産子数：多くは一産一仔
 - 性成熟：4才前後

野生群

- 初産年齢：6～8才
- 出産間隔：2～3年
- 幼児死亡率：3～50%



加害群、餌付け群

- 初産年齢：4～5才
- 出産間隔：毎年
- 幼児死亡率：20%以下



頭数増加、生息域拡大、分裂

○ 栄養状態との関連性

栄養状態と繁殖は密接な関係

野生群 → 栄養状態低い

加害群
餌付け群 → 栄養状態高い

群れを形成するニホンザル対策では 群れ管理が重要

- 1 行動域の把握
(テレメトリー調査、位置情報の把握発信、
捕獲ポイントの特定)
- 2 群れ構成の把握(頭数、雄雌、年齢等)
- 3 群れサイズコントロール
(分裂させない頭数の維持、選択捕獲の実施)
- 4 効率的な追い払い
(体制整備、泊場を山際まで移動、追払方向の指示)
- 5 生息地管理と農地管理
(餌を提供しない対策)



テレメ調査



追い払い対策研修



行動域を考慮した箱罿設置



電気ネット柵

ハナレザル対策では

1 出沒状況の把握

(住民による記録報告<日時、時間、頭数、行動内容>
市町でデータベース)

2 出沒時に集落、学校、警察との連携

(周知徹底)

3 山際へ追い払い(ロケット花火等)

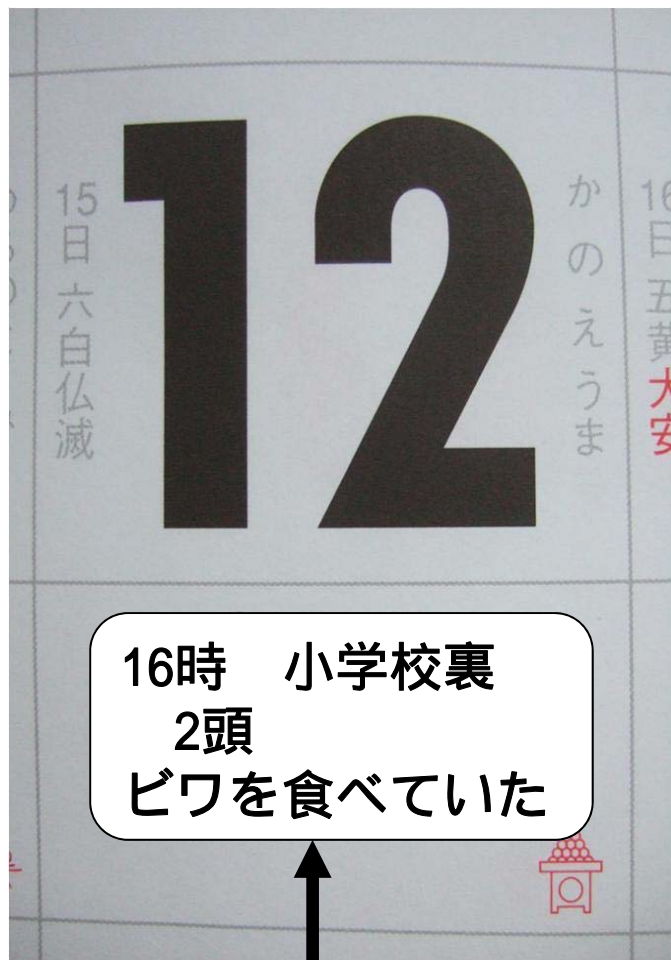
4 餌場の解消

(放任果樹、廃棄農作物、防護対策等)

5 必要に応じて捕獲

(捕獲体制の整備等)

記入例



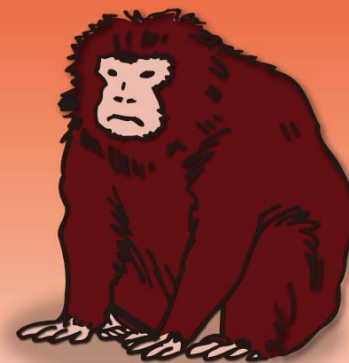
カレンダーなどに、サルの出没状況（場所・頭数・何をしていたか など）を記入する。

サルに出会ったら

近づかない！

刺激しない！

エサを与えない！



サルには近づかないで！ 刺激しないで！

- サルと出会ったときに、大声を出したり、物を投げたりすると、興奮して人を襲ってくることもありますので、刺激しないでください。
- 落ち着いて、速やかにその場から離れて、安全な場所に立ち去ってください。
- 目を合わせないでください。サルと目を合わせると威嚇されたと思い、人が視線をそらせたときに襲う場合があります。



サルにエサを絶対に与えないで！

- エサを与えると、人を怖がらなくなります。エサは絶対に与えないでください。

お問い合わせ

佐賀県 生産振興部 生産者支援課
☎ 0952-25-7113

✉ seisanshashien@pref.saga.lg.jp

佐賀県
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

効率的な被害対策のためには

- 1 サルの生態と効率的防除を住民にしっかり理解させる。
- 2 群れ管理など住民だけでは対応できない部分があるので行政支援が不可欠である。
- 3 生息地管理については、必要性を住民に理解させ、地域ぐるみで実践させる。
- 4 生活被害については、集落のみならず学校、警察等との連携が不可欠である。